

東京都

スポーツ推進委員だより

第130号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

2023年 9月 1日

編集：情報委員会

ご挨拶



新島 二三彦 会長挨拶



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、今年5月8日から、5類感染症になりました。これによって、法律に基づく行動制限などが出されなくなり、観光地などではコロナ禍前に戻ったかのような賑わいを見せています。その一方で、昨年の第8波を超える感染者が見られる地域もあり、専門家からは第9波が始まっているとの指摘もあります。私たちの関わるスポーツの場面では、引き続き感染防止対策に留意しつつ、安全・安心な活動をしていくことが求められます。

こうした中、日本で初めて、2025年にデフリンピックが東京で開催されることになりました。2020東京パラリンピックを契機としてパラスポーツへの関心が高まってきていることから、スポーツを通した共

生社会の実現に向けて、2025年デフリンピックが更なるムーブメントとなるよう期待しています。私たちも研鑽を重ね、その一翼を担えるようにしていきたいものです。

学校部活動の地域連携・移行については、学校現場では待たなしの状況にあると聞いており、その動きが各地で活発化してきています。運動部活動の地域移行に関する国の検討会議提言には「スポーツ推進委員の役割に鑑み、運動部活動の地域移行にあたり、地方公共団体と地域のスポーツ団体等との連絡調整をスポーツ推進委員が担うことも期待される。」とあります。

いずれも一朝一夕にはできませんが、皆様の一助となるよう情報提供してまいりますので、よろしくお願いいたします。

会長 新島 二三彦

社員総会



令和5年度 第1回社員総会

令和5年5月20日(土)14時30分より文京区区民センターにて第1回社員総会が実施された。

はじめに4月11日にご逝去されました種村明子葛飾区スポーツ推進委員協議会会長に黙祷が捧げられた。

続いて、新島会長から、「コロナ対策が緩和され5月8日から5類に移行された。コロナ禍前の日常に戻ることを願い、地域住民にスポーツを楽しんで頂けるようご尽力ください。」と挨拶があった。

その後、定足数の確認がなされ(出席43名、委任状11名 合計54名)、続いて議長の選任、議事録署名人が確認された。

#### ・報告事項

- (1) 理事会報告 山本委員長  
(第1回：4月12日)(第2回：5月10日)
- (2) 各委員会報告 各委員長  
(企画総務・研修・情報・リーダー)

#### ・議事

- (1) 第1号議案 令和4年度事業報告 山本委員長  
令和4年度に実施した都スポ協の各事業について報告され承認された。
- (2) 第2号議案  
令和4年度収支決算報告 飯ヶ谷財務  
監査報告 濱谷監事  
令和4年度の都スポ協の収支決算報告と、監査結果について報告され、全て承認された。



社員総会に続き、功労者表彰、永年勤続表彰の授与式が行われました。

その後、受賞者を囲み祝賀懇親会が「水道橋 なるたか」にて行われました。



<社員総会>



<功労者表彰 (29名) 敬称略>

○功労者表彰 (29名) 敬称略

新宿区	梶山英樹、野村千尋、藤原泰宏
大田区	嶋崎恭子、黒川 仁、伴 歩 河村克也、木村久代、亀水有紀子
杉並区	西島 肇
豊島区	小野 毅
板橋区	中元和美
足立区	浅利栄子
江戸川区	小内賢一
三鷹市	望月龍太
調布市	市川仁史
小平市	山崎臣樹
東村山市	布沢 猛
国立市	仁科 渡
東大和市	別所篤弥、小樽 誠、佐藤芳直
東久留米市	浦崎友恵
羽村市	森塚輝紀
三宅村	筑波正広、池田将範、平松勝憲 岩崎洋一郎、上松裕司

受賞者の皆様、おめでとうございます。



<永年勤続者表彰>

○永年勤続者表彰 (8名) 敬称略

中央区	清水 学
大田区	荒木弘子、伊藤せい子、松原敏彦 小林範明
八王子市	長田正美、森田弓子
葛飾区	種村明子

記事 平野 秀夫 情報委員会 (江戸川区)  
写真 加来 剛 情報委員会 (豊島区)

## 研修会



## 関東スポーツ推進委員研究大会 群馬大会

令和5年6月9日(金)・10日(土)群馬県、ALS OKぐんま総合スポーツセンターぐんまアリーナにおいて「群雄であれ」を大会のメインテーマとして1都8県のスポーツ推進委員、行政関係者の方々が集まり研究大会が開催されました。

1日目13時30分からの開会式では、関東スポーツ推進委員研究大会群馬県大会実行委員会副委員長 蜂須賀真也氏の開会のことばで始まり、大会役員の挨拶、来賓の群馬県知事山本一太氏の祝辞、前橋市長山本龍氏の歓迎のことばなどの後、表彰式が行われました。受賞者は東京都8名、開催県の群馬県では、10名の方で、他県含め合計で86名でした。東京都の受賞者のお名前と地域名は次の通りです。[吉田 寛(江東区)、小林 敦子(中央区)、橋本 純(新宿区)、荅口 祐子(三鷹市)、平塚 信敏(清瀬市)、松浦 陽子(世田谷区)、持田 勤(足立区)、杉山 大作(千代田区)(敬称略)]



14時45分からのパネルディスカッションでは、「新たな時代における地域スポーツの普及に向けて」をテーマに、上武大学ビジネス情報学部スポーツ健康マネジメント学科講師の菅谷美沙都氏がコーディネーターとして、群馬県スポーツ推進委員協議会会長蜂須聖司氏、群馬県スポーツ推進委員協議会副会長設楽政江氏、3人制プロバスケットボールチーム「MINAKANI TOWN. EXE」代表大塚俊氏がパネリストとして行われました。

ディスカッションでは、菅谷氏からスポーツ推進委員の人材の担い手の問題、または地域スポーツ推進に関わらず



今後の行政と連携共同して地域スポーツをどのように盛り上げて行くか、そして今後の地域スポーツ環境におけるビジョンはどうかと問題提起がありました。設楽氏からのスポーツ推進委員というものを広く知っていただくという意見や、大塚氏からの、地元の方に自分たちが誰なのかという事を知っていただくことが重要という意見などが出てきました。



総合型地域スポーツクラブという観点でのお話では、菅谷氏から総合型地域スポーツクラブが手を取り合っその地域に住んでいる子供たちの健康を守って行くことが重要と意見がありました。大塚氏は、プロスポーツチームというふうな観点からスポーツをビジネスにして行くことでスポーツを守ることが出来ると思います。そのような環境を作ることによって多世代にわたりスポーツをする環境を残すことでより良い街を作り、地域活性化につなげていけたらという発言がありました。



最後に菅谷氏から、地域のスポーツ環境は激動の時代を迎えようとしておりますが、地域を愛する熱い思いを持った方々が地域にて活躍の場を作っていくこと、そしてそのような人材を地域で暖かく育てていくことこそがこれからの地域スポーツの振興には欠かせないという意見とともに、このディスカッションが、地域の将来を皆さまで語っていただくようなきっかけとなればというお話でパネルディスカッションは終了しました。



＜スキットル＞

2日目の第1分科会は、ALSOKぐんま総合スポーツセンター内のぐんまアリーナにて「ポッチャ」、ふれあいグラウンドにて「モルック」が行われました。第2分科会は、「富岡世界遺産ウォーキング」として富岡市の富岡製糸場をメインに散策を行い、それぞれ親睦を深めながら楽しく学ぶことが出来ました。

第1分科会にて参加した「モルック」では、3チーム（6人編成）で試合を行いました。スキットルを立てるのは交替で行い、プレイヤーと審判側（得点表の記入も）の経験もしながら勝負を争いました。一投に一喜一憂し、チーム内で作戦も立てて団結力も強まり、50点目の一

※モルックはフィンランドで開発されたスポーツで、投げる棒のことをモルック、1～12の数字が記された木製のピンをスキットル、投げる位置を示す板状の物をモルッカーリといいます。

投を見事に決めた際にはハイタッチをして大変盛り上がりました。老若男女・障害者も楽しめるスポーツで、仲間たちとの親睦を深め、健康保持・増進と体力づくりを図るには、大いに期待できるスポーツだと思います。今後モルックの普及・振興にスポーツ推進委員が一端を担っていきたいと思います。

※モルッカーリから3～4m（3.5mを基準）あけた所にスキットル（初期配置は決まっています、左側に奇数・右側に偶数）を配置します。投擲順を決め、順番にモルックを投げてスキットルを倒します。



＜モルックの競技風景＞

記事 菅野 宏潔 情報委員会（台東区）  
写真 加来 剛 情報委員会（豊島区）  
記事・写真 國崎 由実子 情報委員会（葛飾区）

## 会長会



令和5年6月17日（土）14時より、令和5年度東京都スポーツ推進委員協議会会長会が各地区会長の参加のもと、三鷹市市民協働センターにおいて開催されました。

会長会に先立って東京都スポーツ推進委員協議会の新島会長より挨拶があり、「以前のように会長会が出来ることを大変うれしく思います。今日の会長会ですけれども、スポーツ推進委員と私たちを委嘱している行政関係者との間でどのような付き合いをしていけばいいのかを皆で話し合ってください。それを参考に今後どのように運営していくのか参考にさせていただければと思います。」と述べられた。

続いて東京都生活文化スポーツ局スポーツ総合推進課地域スポーツ振興担当課長 前原淳様より「都スポ協及びスポーツ推進委員の皆様と東京都との連携した事業の展開ですとか、情報共有が重要だと思っています。共催の研修会を通して皆様の活動を支援していくとともに、今後とも引き続きご協力お願いいたします。」とのご挨拶を頂いた。

来賓及び、都スポ協の役員の紹介の後、東京都生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部スポーツ課課長代理 若菜大介様、中川和歌子様、（公社）東京都障害者スポーツ協会スポーツ振興部地域スポーツ振興課長 佐々木ゆみ様から情報提供があった。

## 会長会

その後今回出席した各市区町村の会長及び代理出席者49名から自己紹介（地区、名前、会長歴）が行われた。



続いて都スポ協からの情報提供として、新島会長から全国連合定時総会の報告、中村研修委員長から広域地区別研修会の会計上の注意点について説明があった。

会長会の第1部として新島会長より「スポーツ推進委員と行政の連携」というテーマで講演が行われた。その中で委嘱者である行政は、スポーツ推進委員に対して何をしたいのか明確に示してほしいと述べられた。

第2部では6グループ（A：千代田区・墨田区・渋谷

区・板橋区・立川市・西東京市・国分寺市・東久留米市・八丈町、B：中央区・江東区・中野区・練馬区・武蔵野市・町田市・国立市・武蔵村山市・清瀬市、C：港区・品川区・杉並区・足立区・三鷹市・小金井市・日の出町・多摩市、D：新宿区・目黒区・豊島区・葛飾区・江戸川区・小平市・狛江市・稲城市、E：文京区・大田区・北区・府中市・日野市・羽村市・大島町、F：台東区・世田谷区・荒川区・八王子市・昭島市・東村山市・瑞穂町・あきる野市)に分かれて「各地区において行政との協力体制はいかがですか」というテーマのもとディスカッションが行われた。

各グループ内で行政との情報伝達がスムーズに行われているか、コミュニケーションが取れているか、会議に行政は参加しているのかなどの情報が共有された。概ね連携は取れているという話だったが、行政の任期が短くコミュニケーション不足になるという指摘もあった。それ以外にも研修会の費用負担やユニフォーム代などの費用負担は各地区によって様々でした。最後に各グループの発表者がディスカッションの内容をま

とめ発表した。私の参加したグループでは各地区の話をしてだけで時間が無くなってしまったが、各地区の情報を知ることが出来てとても良い情報交換の場となった。



記事・写真 平野 秀夫 情報委員会 (江戸川区)

## 研修会



## 令和5年度 初任者講習会

令和5年6月24日(土)10時より、新宿スポーツセンターにて、リーダー委員会のメンバーによる「初任者講習会」が開催されました。昨年行われた初回の講習会は、新型コロナウイルス感染症の感染防止等を考慮し、Zoomによるオンラインの講習会に対し、今回は対面による集合研修方式で開催されました。

リーダー委員会のメンバーも2度目の講義でしたが、1年のブランクと初の対面開催ということもあり、緊張感がある中、講師を務めました。

講習会の参加者は、令和5年度の新任委員、及び経験年数5年程度の委員が対象でした。参加の申し込みは、直前申し込みも含めて44名で、欠席者はありませんでした。

当日のスケジュールは10時の開講式の後、約1時間で以下5つの内容を講義しました。

- 1：スポーツ推進委員の制度  
(講師：西島(杉並) / PC：濱谷(世田谷))
- 2：スポーツ推進委員の組織  
(講師：横山(墨田) / PC：吉田(中野))
- 3：生涯スポーツの推進とスポーツ推進委員  
(講師：濱谷(世田谷) / PC：西島(杉並))
- 4：リスクマネジメント  
(講師：渡邊(武蔵野) / PC：青木(新宿))
- 5：総合型地域スポーツクラブ  
(講師：三枝(小金井) / PC：横山(墨田))



講義終了後、参加者44名を6グループに分け、25分という短い時間でしたが、ディスカッションを行いました。研修についての意見や感想を話し合ってもらい、3グループ(2グループは自らの拳手により)に共有意見を発表して頂きました。



当日にアンケート協力を依頼し、返答の中には下記のような答え・要望がありました。

#### <プラス意見>

- ・改めてスポーツ推進委員について学ぶことができた
- ・ハンドブック、パワーポイントを使用した解説がわかりやすかった
- ・簡潔、短時間でまとめられていてよかった

#### <改善意見>

- ・重要個所の抜粋であり、もう少し詳しく知りたい
  - ・内容が多く、進行が速いためついていけない
  - ・もう少しディスカッションの時間が欲しい
- プラスの意見はさらに磨きをかけ、改善意見は可能な限りアップデートして、研修時間などを調整し、来年度以降も引き続き実施する予定です。

記事・写真 濱谷 義彦 リーダー委員会 (世田谷区)

## 研修会



## ニュースポーツ研修会

令和5年7月1日(土)13時より、四谷スポーツスクエア地下2階多目的ホールにて、「ラウンドネット湘南」代表の佐藤太一様を講師にお招きして「ラウンドネット」の研修会が、60名の参加で行われました。

始めに、島田副会長の挨拶があり、続けて講師から、ラウンドネットについての基礎知識(歴史・ルール・環境)及びゲーム進行などについての講義があり、その後、実際にゲーム体験を行いました。

ラウンドネット(「スパイクボール」とも言う)とは、2対2の4人で行い、4人の中央に置いた直径1メートル程の円形のネットに向かってボールを打ち合うスポーツです。ボールを地面に落とすことなくチーム内でパスをつなげ、3回以内にボールをネットに弾ませることで、相手チームへの返球となります。チームが3回のタッチでボールをネットに戻すことができなかつたり、地面やネットのリムにボールが弾んだりした場合、相手チームが1ポイント獲得するというシンプルなルールです。体のどこにあてて返球してもよいのですが、最初はボールに慣れるため、4人1組でネットを使わず手のひらでボールを打ち合いました。

その後ゲーム体験を行い、最後は参加者の中から代表8組を選んで試合を行いました。中には大技も飛び出したりして歓声が起こる場面もあり、講師からも「本当に皆さん、今日が初めてですか？」と驚きの声がありました。

とても盛り上がった、実りある研修会でした。



<ラウンドネット 競技風景>

記事・写真 長崎より子 情報委員会(千代田区)

#####

#### <編集後記>

令和5年度も始まり、5月初旬には新型コロナウイルス感染症も5類感染症に移行されました。これを受けて、スポーツ推進委員の活動も徐々にコロナ禍前の状態に戻ってきている地域も増えてきたことと思います。しかしながら今年の夏は、これまでにない災害級の暑さが続いています。感染対策を踏まえつつ、熱中症の予防にも最大限注意して活動を行わなくてはならない状況かと思えます。また、東京においては、被害があったというニュースは流れていませんが、全国的に台風や雨、風などの災害による被害が出た地域も多くあります。今年2023年は関東大震災から100年という節目の年でもあります。私自身、感染症対策や熱中症予防とともに、地震・天災に対する防災という観点にも目を向けて、今後の活動を進めていければと思っています。

皆様におかれましても、これまで以上に気を配りながら活動再開を推し進めている中、ご自身の健康にも気を付けながら安全に活動をしていただきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

編集 長谷川 恵二 情報委員会(昭島市)

#####